



18
げつようび

れいてき せんそうに しょうりした サムエル

I サムエル 3章 19節

サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、彼のこぼを一つも地に落とされなかった。

幼いサムエルは、神殿で育ちました。このとき、祭司エリは、神様の御声が聞こえず、エリの息子たちは世の中の文化に従って、悪い行いばかりを選んでいました。彼らは神様の生きておられることを信じず、契約の箱をお守りのように戦争に持って行き、結局、契約の箱を敵軍に奪われてしまいました。そのような時代に神殿で育ったサムエルは、契約の箱のそばで寝起きをしていたある日、神様の御声を聞きました。その後、サムエルが行ったミツバ運動を通してイスラエル民族が偶像を捨てて、神様に帰って来るようになりました。また霊的サミットであるダビデに油を注いで王として立て、神殿を回復するように、神様から与えられた契約を伝えました。その結果、サムエルの生きている間は、戦争がなく、神様はサムエルのこぼを一つも地に落とされませんでした。

私たちがサムエルのように、神様の御声を聞くことができます。聖日礼拝とく子どもの祈りの手帳で礼拝するとき、そして現場で開かれる礼拝の場所へ行くときに、確認することができるでしょう。そのとき、神様から与えられるみこぼを通して神殿を回復して、237個の国を生かす力を回復しましょう。このとき、サムエルのように、霊的戦争で勝利する準備ができるのです。



きょうのみこぼ

Handwriting practice lines for the 'Today's Promise' section.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。サムエルのように、神様のみこぼを正確に悟って、霊的戦争に勝利することができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

聖書には霊的な戦争に勝利した人たちの名前が記録されています。下の聖書箇所を見て、それぞれの聖句の示す人の名前を書きましょう。



書いてみよう

エリシャ、ハガイ、ヨセフ、ダビデ、サムエル、モーセ、ヒゼキヤ

創世記39:1~6
出エジプト 5:1~3
I サムエル 3:19
I サムエル 17:45
II 列王6:8~24
II 列王 19:35
ハガイ 2:1~9



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Grid area for writing names of people met during church service and preparation materials.



19

かようび

237このくにを いやそう

マタイ
24章 14節

この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。

私たちがよく誤解していることがあります。それは「私には力がない」と考えることです。このことは、世の中で言う、能力がないということです。世界は広くて大きいです。優れた人も多くいます。しかし、勤違いはなりません。どんなに良い信仰を持っていても、錯覚をすると、正確な道を見つかることができなくなります。

神様が備えてくださった力は別にあります。世の中のすべてをいやして、超越する力です。それが、キリストです。キリストだけがサタンのかけた創世記3、6、11章の問題を解決することができます。世の中の力では偶像問題と、それが引き起こす病気をいやすことはできません。それゆえ、神様は世の中の力は必要ないということに気づいた私たちを待っておられるのです。世の中は、私たちのことを力のない、「ふう〜」と息を吹きかければ飛んでいってしまいそうな存在だと見ています。しかし、私たちはたしかに神様が備えて隠しておかれたレムナントです。ただキリストを味わうときに与えられる力を知って、237個の国をいやす霊的サミットの希望を胸に、一日を始めましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。この世がゴリヤテのように恐ろしくても、ただキリストにあるすべての祝福を味わって、237個の国をいやすように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろをぬろう

キリストは、この世の6つの絶対不可能な状態をいやす唯一の御名です。私の持っているキリストの御名にある権威を黙想しながら色をぬって絵を完成させましょう。



きょうのでんどう

あ ひと 会う人

じゆんび 準備する資料



20

すいようび

237このくにのサミットを みつけよう！

使徒 1章 8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

神様は聖書のレムナント7人（ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ）をさびしい状況におかれしました。それは、神様が造ってくださった私を見つけるための道でした。ある人は、ひどい苦しみの中で、神様から与えられた私のことを見つけました。ある人は、危機にぶつかったときに、神様から与えられた現場を確認しました。このように、苦しいとき、問題がきたとき、反対に、答えがきた場合でも、いつも思うべきことがあります。それは、237個の国のサミットを見つけることです。

イエス様が、このことを成し遂げていく私たちに、最初に約束して、また最後に約束してくださったことがあります。それが「地の果てにまで、わたしの証人となります」と言われた霊的サミット、技能サミット、文化サミットの祝福です。そのなかでも、最も重要で、すべてのはじまりとなるべきものが、霊的サミットです。そのために、一日10分ずつ、3回ほど神様に向かって集中する祈りができなければなりません。そうすれば、戦わずに勝利することができます。全世界237個の国を生かすサミットを見つける、はじまりのボタンをはめることになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。さびしさ、苦しさ、危機の中で、神様がくださったことを味わって、霊的サミットになるように、力と恵みをください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



なやんで
います

今月の悩みはなんでしょうか。



パク・ウヨン 牧師夫人

なやみがあります。21の伝道者の生活9番目の質問
なぜ世界福音化を私の使命だと言われるのですか。
ほかの使命はないのですか。

使命とは「私たちがしなければならないこと」ということばです。復活されたイエス様が、40日間、神の国のことを説明されたあとで、昇天されたことを知っていますか。イエス様は、昇天される時「すべての国の人々に福音を伝えて弟子としないさい」（マタイ 28:18-20、マルコ 6:15-19、ルカ 24:47-51、使徒 1:8）と言われました。すべての民族の中に、救われる人を備えているので、行って見つけなさいというみことばです。罪によって死ぬしかなかった私を生かすために、私の代わりに死んで復活されて、言われたみことばなので、イエス様をキリスト（救い主）として告白した神の子どもは、イエス様の最後の頼みを守るべきです。ですから、どこで生活しても、どんな職業についても、私たちがすべきことは、全部、地の果てにまで福音を伝えることです。ただ、ということです。

日本には、多くの外国人が訪れるので、日本の中でもいろいろな民族に出会えます。日本に来た外国人に、この御国の福音が伝えられて、イエス様の隠しておられる弟子を発見できるように祈りましょう。そして、全世界の237個の国にいる人たち、みんなが福音を聞くその日まで、伝道者の生活を忠実に送りましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

Grid area for writing the prayer.

Grid area for writing preparation materials.

にくたいの いやしと でんどう

マタイ 8章16~17節

夕方になると、人々は悪霊につかれた者を大ぜい、みもとに連れて来た。そこで、イエスはみことばをもって霊どもを追い出し、また病気の人々をみないやされた。これは、預言者イザヤを通して言われた事が成就するためであった。「彼が私たちのわずらいを身に引き受け、私たちの病を背負った。」

イエス様が訪れた先で、かならずされたことがあります。それは、いやしです。神様を離れた人間は、霊的に死んでいる存在です。それゆえ、霊的いやしが絶対に必要です。(ローマ8:1-2、エペソ2:1) 霊的に病気の人は、心、考え、からだ、生活も病気に侵されるしかありません。(創世記3:16-19、使徒8:4-8) それゆえ神様は、預言者イザヤを通して、イエス様が私たちの弱さや病気を、十字架ですでにみな解決すると言われました。

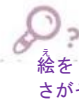
いま、世界は神様を離れて病気になっています。私たちを通して福音が伝えられるとき、病気の人はいやされて、伝道者として変わるでしょう。福音はまことのいやしの奥義です。まわりにいる病気の人々を訪ねて行って福音を伝えましょう。そのとき、霊的いやしとともに病気もいやされることを、いっしょに集中して祈りましょう。使徒3章の足のなえた人がいやされて神殿に入っていく、神様をほめたたえたことと同じ働きを体験するようになるでしょう。



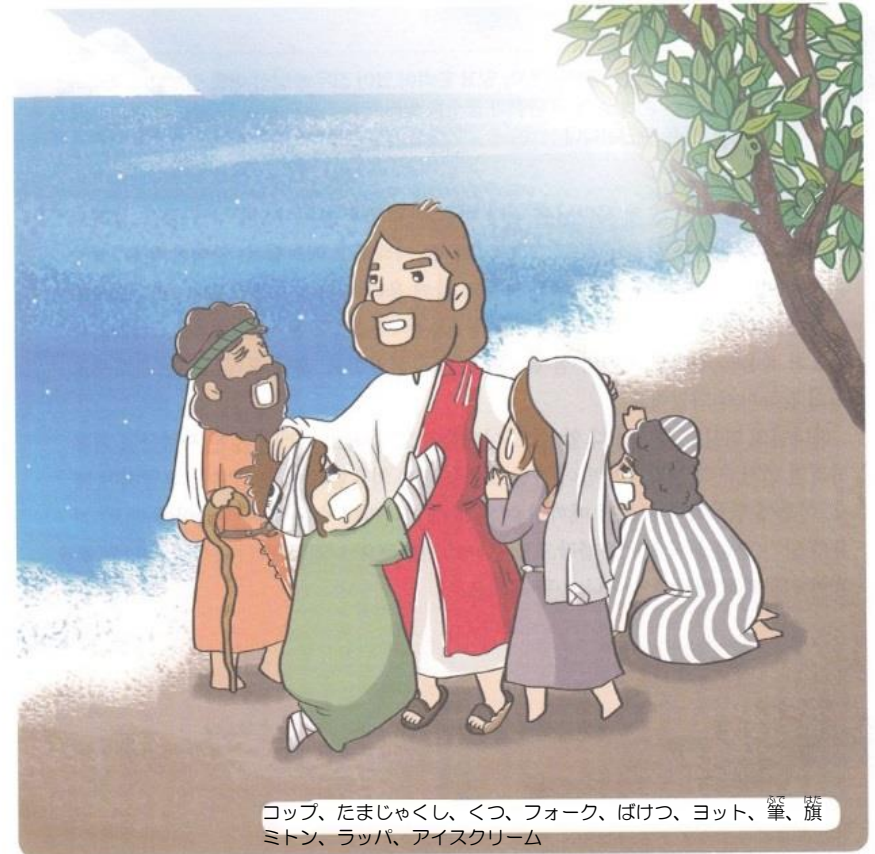
きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様を離れたゆえに起きている霊的な問題、精神問題、肉体的問題で苦しんでいる人たちが、私を通して福音を聞いていやされますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



病気の人をイエス様がいやしておられます。かく隠れている絵を見つけましょう。



コップ、たまじゃくし、くつ、フォーク、ばけつ、ヨット、筆、旗、ミトン、ラッパ、アイスクリーム



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料



22

いやしと でんどう

きんようび

ヘブル 4章 12節

神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。

福音を知らないまま神様を離れて、心と考えが病気になっている人々を生かすために、私たちは選ばれた者です。ですから、そのような人々を理解して配慮するべきです。聖書にはこの事実を知らせるために「泣く者といっしょに泣きなさい」（ローマ 12:15）とあります。パウロは、ピレモンの奴隷だったオネシモを悪い人だと見ませんでした。彼に必要な福音を伝えて、自分の息子のように、弟子としました。のちにオネシモは、コロサイ教会の監督になりました。

神様の働きを、私たちはすべて知ることも理解することもできません。ですから、病気になった人々をいやそうとするなら、私たちの考えと方法ではなく先に、その人々を本当にいやすことのできるみことばを伝えなければなりません。その後、慰めながら、いやされる時まで、焦らずに待って、隠れている祝福を見つけなければなりません。いやしについてのみことばを、約束として握って集中して祈りましょう。私を通して、行く先で正しい福音が伝えられて、現場が生かされるようになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。生きておられる神様のみことばによって、人を理解して、配慮したパウロのように、福音の目で人々を見ることができるよう霊的な目を開いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことば適用

病気の友だちや家族といっしょに、いちばん幸せなとき、いちばん悲しいときの絵を描きましょう。絵について、いっしょに話をして祈りの課題を書きましょう。お互いに理解と配慮が生まれるでしょう。



わたしがいちばん
しあわせなとき



わたしがいちばん
かなしいとき







きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんが
準備する資料

23

れいてきな いやしと でんどう

とよび

使徒
2章 42節

そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。

神様を離れた人々は、自分、肉体、成功のために生きています。また、自分の思いどおりに動かすために、偶像文化を探します。占いやお祓い、宗教に頼り、自分の力を超えた力を受けようとするのです。(使徒13、16、19章)ところが、その背後にはサタンがいます。その道に従って行くことは、サタンに完全に捕われて、滅びの道に行くことです。(エペソ2:1~3)そのような人々に正しい福音を伝えることが、霊的いやしです。

このいやしは、まず私と私たちの教会から起きなければなりません。マルコの屋上の中で起きたことと同じです。マルコの屋上の中に集まった人々は、講壇のみことばを持って交わりをして、祈りながら神様からの力を受けました。パウロはどこへ行っても、まず先に会堂を探して、自分を生かして福音を伝える弟子を探しました。(使徒17:1)

今週に与えられた講壇のメッセージと<子どもの祈りの手帳>のみことばを整理しながら集中して祈る時間を持ちましょう。教会と現場をみことばの目で見て、友だちを生かすまことのレムナントになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。サタンの作った暗やみ文化を打ち砕く弟子として、現場を生かす力をください。みことばと祈りにもっと専念するレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



礼拝ではじまった一週間のメッセージを整理しよう。

みことばを
適用しよう

メッセージ整理ノート

みことば	祈りの課題と答え
日曜日	
月曜日	
火曜日	
水曜日	
木曜日	
金曜日	
土曜日	



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料
